

北海道美幌農業高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスchool宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和6年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 農業教育を通して将来地域で活躍できる産業人を育成する。 (2) 農業の基礎基本、そして新たな技術を学ばせ、オホーツク地域の農業を担う人材を育成する。	(1) B (2) B	(1) 農業教科の指導内容の充実・専門機関との連携による高度・最先端の技術知識を学ぶ環境づくり。 (2) 農業技術検定、アグリマイスター制度の活用と地域農業理解につながる学習の推進。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) 世界の農業にも目を向け、国際社会の中で活躍しうな人材育成をする。 (2) 海外農業研修、農業を通じた国際交流の推進を図る。	(1) B (2) B	(1) 農業における世界を見据えた取り組み事例を行っている農業者等の講演・農場視察。 (2) 海外研修への案内や情報提供の推進。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 新しい農業技術を積極的に取り入れるなど即戦力となる農業者育成をする。 (2) 関連団体、研究機関と連携し地域に貢献できるプロジェクト学習を行う。	(1) B (2) A	(1) 農業関連機関・専門機関との連携・出前授業の活用。 (2) 大学・普及センター・試験場と連携し、地域課題をテーマにしたプロジェクト学習の展開。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 地域農業理解に向けた研修や講演会を行う。 (2) 「地域農業の縮図」としての学校農場を適切に運営し、地域理解を深めさせる。	(1) B (2) A	(1) 作物・畜産・食品製造など各学科の学習内容にリンクした講演会、視察研修の実施。 (2) 地域見本圃場として整備促進。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 環境保全型農業を推進し、持続可能な農業体系を具現化する。 (2) 地域の未利用資源、副産物等の有効利用、有害生物に関する研究を深め、安定的な農業生産体系確立を目指す。	(1) B (2) A	(1) 環境に関した関係機関と連携を進め、地域環境保全を考える生徒の育成。 (2) 地域の外来生物の有効活用、ゼロエミッションの取り組みの推進。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 豊富なオホーツク資源の栽培を通して地域農業の理解を深める。 (2) 地域資源の活用方法について食品加工等を通して学び、将来のオホーツク産業を担う人材を育てる。	(1) A (2) A	(1) オホーツク特産の農産物の栽培飼育の推進と、それに関わる地域課題を把握した学習の展開。 (2) プロジェクト学習での地域資源の活用と新商品開発などこれからの地域に生きる研究活動の推進。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) 学校農場を活用したスマート農業を推進する。 (2) ICTを用いて質の高い農業教育を行う。	(1) B (2) B	(1) 施設整備を行い、誰でも安全に生産できる農業の実践と掲示教育の推進。 (2) 情報の取得や理解、処理を通じて農業生産に生かす力の習得。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 防災教育の推進を図る。 (2) 地域防災における学校の役割を認識し、町の災害対策と併せて取り組みを検討する。	(1) A (2) A	(1) 防災教育、特に北海道における冬期防災教室の実施。 (2) 町の防災マニュアル、ハザードマップと連動した学校の役割の明確化と行動マニュアル整備。